

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)
 Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年2月8日 (木)
 NO. 832号 本号3頁

秘密法・共謀罪廃止に！25万9798人の署名を国会議員に手渡す！

秘密保護法、「共謀罪」法の廃止などを求める行動が6日お昼、衆院第2議員会館前で行われました。国会議員、市民団体の代表など100人が「日本を『戦争をする国』にさせないためにも、共謀罪法を廃止させるため運動を広げていこう」と訴えました。参加者の代表が、駆けつけた4野党の議員に、「共謀罪」廃止を求める25万9798人の署名を国会議員に手渡しました。



『秘密保護法』廃止へ！実行委員会」と「共謀罪NO！実行委員会」が共催。両実行委員会を代表して主催者あいさつした海渡雄一弁護士は、「戦前の『治安維持法』や『特高』の復活を許さないためにも、両法を廃止させよう」と訴えました。

この行動は2013年12月6日に秘密保護法が強行採決されたことを忘れず、法の廃止を求め、毎月6日を中心に行われているもので、この日は約100人の参加者が「秘密保護法、『共謀罪』法も絶対廃止」とコールしました。

野党から日本共産党の畑野君枝衆院議員、立憲民主党の有田芳生参院議員、民進党の真山勇一参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が参加。共産党の畑野議員は、「72年間戦争をさせなかった日本の国民の力で、国民の知る権利、内心の自由を守ろう」と呼びかけました。

参加した東京都中野区の男性(66)は、「地道に抗議行動を継続していくことも大事だし、多くの人に知らせるために横のつながりを広げていくことも大事だと思っている」と話しました。同大田区の女性(73)は、「子や孫に平和な日本を残すために参加した」と語りました。

午後、「森友・加計情報隠しを許さない！公文書管理法改正、情報公開法改正を求める2・6院内集会」を開催！

秘密保護法、「共謀罪」法の廃止などを求める行動の後13時30分より、衆院議員会館内で「森友・加計情報隠しを許さない！公文書管理法改正、情報公開法改正を求める2・6院内集会」が開催されました。「秘密保護法」廃止へ！実行委、共謀罪NO！実行委員会の共催で開催されました。

集会には、社民党の福島瑞穂参院議員、立憲民主党の森山ひろふみ衆院議員、日本共産党の塩川鉄也衆院議員が駆けつけ、連帯のあいさつを行いました。共産党の塩川氏は「森友・加計疑惑では、無くなった文書が出てきたりと、とんでもない情報隠しが行われている。公文書管理法そして情報公開法を国民のために改正していく。そして、政治を国民の手に取り戻すために奮闘する」と決意を語りました。

主催者あいさつの後、福田圭子さん(加計学園情報公開請求者)が、夫の実家が今治市であったことをきっかけに始めた、加計学園問題での資料請求・情報公開のとりくみを報告しました。福田



氏は「真っ黒なものが出てきた」と、実際に公開されたという「黒塗りだらけ」の公開された資料を示しながら、加計学園の情報隠しは許せないとして、「徹底して情報公開を求めていく」と決意を語りました。

その後、独協大名誉教授「憲法、情報法」の右崎正博さんが、「公文書管理法の見直しに向けて」とのテーマで講演されました。右崎氏は、はじめに2009年に制定され、2011年に全面施行された公文書管理法について、その概要を丁寧に説明し、次に「しかし、残された課題も少なくない」として積み残された5課題について報告し、公文書管理法の見直しの必要性と具体的な見直しの内容に報告されました。

各地のとくくみ

東京 改憲反対の世論を高めようと「PEACE パレード」

三鷹市・武蔵野市で4日、憲法改悪に反対し、平和な未来を求める「PEACE パレード」が行われました。約100人が参加し、「憲法9条を守ろう」「平和がいいね」とコールしながら、パレードしました。パレード終了後には、吉祥寺駅前で3000万人署名を呼びかけました。

主催は、「パパママぼくの脱原発ウォーク in 武蔵野・三鷹」や地域の「9条の会」などでつくる「吉祥寺 PEACE パレード実行委員会」です。

出発前にあいさつした、同実行委員会の共同代表の高橋茂さんは、安倍政権が狙う改憲についてふれ、「危険な動きが強まっている一方で、それに抵抗する運動も強まっています」と指摘し、「私たちは決してあきらめず、声を上げ続けよう」と訴えました。

武蔵野市の高木一彦さんは2歳の孫娘をベビーカーにのせて参加し、「粘り強く行動して、改憲発議を許さない世論を高めていきたい」と話しました。



石川 憲法会議と憲法共同センター「3000万署名」宣伝

大雪の続く石川で、憲法会議と憲法共同センターが奮闘しています。3日、石川県憲法会議と憲法共同センターは3日、金沢市のめいてつエムザ前で「安倍9条改憲ストップ!3000万署名」宣伝に取り組みました。毎月3日に合同で署名活動を続けています。改憲ストップを訴えるチラシを配布して協力を訴えました。

共同センターの長曾輝夫事務局長は「安倍9条改憲は自衛隊を9条に明記し、戦争に参加していく仕組みをつくるもの。『戦争する国』にしてはならない。改憲ストップの声をあげていこう」と訴えました。

憲法会議の板坂洋介事務局長は「今日は全国各地で『アベ政治を許さない』3日の日行動にとりくんでいる。安倍政権による9条改憲を許さない3000万署名にご協力を」と呼びかけました。

買い物帰りの女性は、「戦争は絶対にだめです」と語り、署名に応じました。

2・11「建国記念の日」に反対する集会にご参加を!

2月11日に、全国各地で「建国記念の日」に反対する集会が開催されます。是非、ご参加ください。都内では、下記のように開催されます。

とき:2018年2月11日 午後1時半開会 ところ:日本橋公会堂4階

講演:「関東大震災朝鮮人虐殺をめぐる議論の現状と課題」田中正敬(専修学)

「9条で創る日本と世界の平和」川田忠明(委員会常任理事)

主催:「建国記念の日」に反対し思想・信教自由を守る2・11連会

「春の憲法講座」の講師決まる!
是非、ご参加ください!

憲法会議

春の憲法講座

—9条改憲ストップ、生かそう憲法 くらしに政治に!—

安倍政権は通常国会での改憲発議をめざし、予算成立後に憲法審査会に憲法改正案を提出する方針で、党内での意見の取りまとめをすすめています。日本国憲法が最大の危機を迎えようとしています。
一方で、国民の改憲阻止に向けたたたかいも燎原の火のように全国に広がっています。戦争法・共謀罪法反対、衆院選をたたかった市民の共同、市民と野党の共闘が発展し、「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)に取り組んでいます。共同と連帯をさらにひろげ、その力で安倍9条改憲許さず、憲法が生きる憲法どおりの日本の社会と政治を実現しようではありませんか。
今年の「春の憲法講座」です。学びあい、知恵と力を3000万人署名に!

*講座・講演 愛敬浩二 名古屋大学大学院法学研究科教授
「安倍9条改憲でどう変わるか」



*国会報告 穀田恵二 日本共産党国会対策委員長・衆院議員
「安倍暴走政治を許さない—国政を語る」



- と き 2018年3月4日(日)
午前10時00分~12時30分(9時30分開場)
- と ころ 全国教育文化会館 7F
千代田区二番町12-1 TEL.03-5210-3511
- 資 料 代 1000円(学生500円)
当日会場にていただきます。
- 主 催 憲法会議(憲法改憲阻止各界連絡会議)
- 協 賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/
千葉県憲法会議/東京憲法会議



*事前お申し込みをお願いします。下記へご連絡ください。
(定員まで受け付けます。締め切りはホームページでお知らせします。)

◆申し込み・連絡先◆

憲法会議
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
神保町マンション202
TEL03-3261-9007 FAX03-3261-5453
Eメール: ma@kenpoukaisai.jp

● 憲法講座受講申し込み書 ●

氏 名	住 所	電 話	ファックス	メールアドレス